事例No.	536
公表年度	H28
団体の属性	町村
団体名	京都府精華町

事例区分	公会計

タグ	・適切な資産管理 ・（公会計）その他

事例種類	適切な資産管理

事例内容・タイトル

適切な資産管理のための基金の創設（固定資産台帳、予算編成、予算要求特別枠）

出典

地方公会計の活用のあり方に関する研究会

適切な資産管理（将来の施設更新等の財源確保）

【事例】適切な資産管理のための基金の創設（京都府相楽郡精華町）

背景・目的

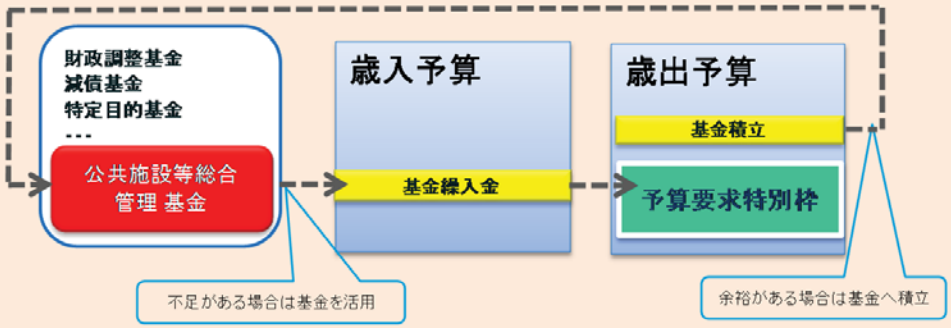
○　将来発生する公共施設等の更新需要に備えるため、長期的な視点を持って、公共施設等の更新や長寿命化対策を計画的に行うとともに、所要の財源の確保、財政負担の平準化を図る必要がある。

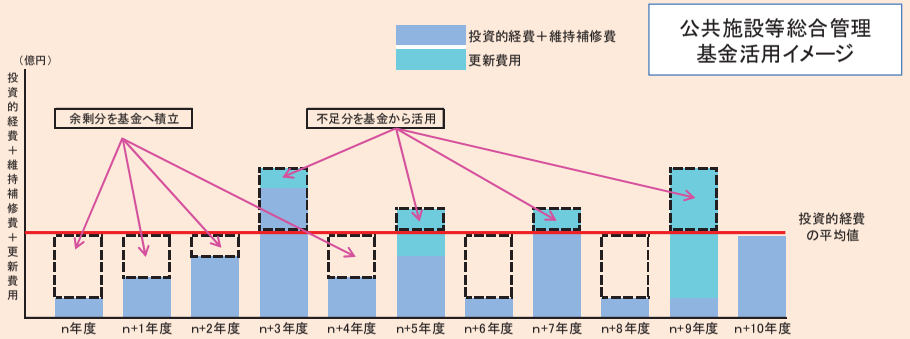
事例概要

○　耐用年数が到来した資産を固定資産台帳から抽出し、資産所管課において、資産の取替・修繕・廃棄の要否について検討。

○　施設設備の老朽化対策、予防保全、中長期的なコスト削減を可能とする事業に優先的配分するための「予算要求特別枠」を創設。

○　将来発生する更新費用や投資的経費の年度間の不均衡に対応するため、公共施設等総合管理基金を創設。





効果等

○　公共施設等総合管理基金を創設し、新たに通常予算枠とは別枠で設ける予算要求特別枠の財源としても活用することで、財源をローリングし、公共施設マネジメントに備えた実効性のある予算の編成が期待できる。